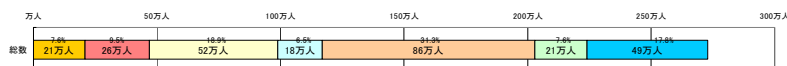
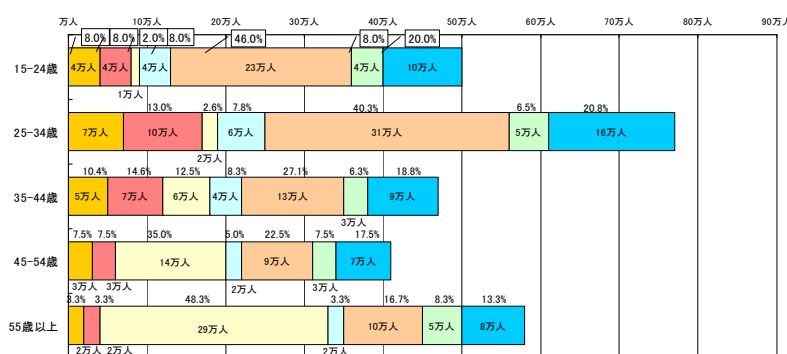


# 仕事と人を結びつけるのが 派遣会社の使命です

仕事につけない理由、総数



仕事につけない理由、年齢階級別完全失業者数



- 賃金・給料が希望とあわない
- 勤務時間・休日などが希望とあわない
- 求人年齢と自分の年齢があわない
- 自分の技術や技能が求人要件に満たない
- 希望する職種・内容の仕事がない
- 条件にこだわらないが仕事がない
- その他

資料出所：総務省統計局「労働力調査(詳細結果)平成16年平均」

自分にあう仕事が見つからずに悩んでいる労働者はたくさんいます。

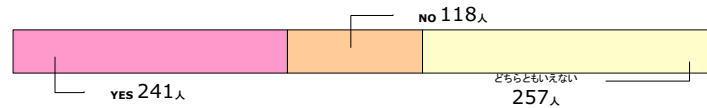
条件にこだわらないが仕事がない、という深刻な悩みの方から、希望する職種・内容の仕事がない、自分の技術や技能が求人条件に満たない、賃金・給料があわない、といった希望と現実とのギャップに悩んでいる方。そして、勤務時間や休日などがあわないといった生活スタイルとのギャップに悩む方。年齢階層別に見ても仕事につけない理由は、実に多様です。

派遣会社の使命は、こうしたミスマッチの解消にあります。労働者派遣事業は、多くの仕事と多くの労働者を結びつけることで、働く場を創造して行きます。

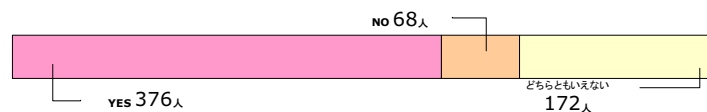
# コンプライアンスを徹底した 事業運営を推進します

人材派遣会社に対する社会一般のイメージ調査

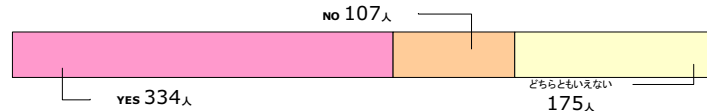
派遣会社は、派遣スタッフに誠実な対応をしている。



派遣会社は、派遣スタッフとの労働契約を守っている。



派遣会社は、労働者派遣法を遵守している。



資料出所：当協会「人材派遣のイメージアンケート集計結果(平成18年11月)」

わが国では人口が減少に転じ、労働力供給も今後抑制されていきます。社会の活力を維持し経済発展を続けるためには、一人ひとりの仕事と生活との調和を保つことが重要です。つまり、多様で自由な働き方を実現して、より多くの人々に仕事の間を提供していかななくてはならないのです。その多様性を実現するのが、労働者派遣事業です。

一般社会での派遣のイメージは、一部の報道のように劣悪なものではありません。これからも、労働者派遣事業主は、コンプライアンスを徹底した、そして労働者保護を最優先にした事業運営を行い、労働者と派遣先の満足度向上を目指していきます。

## 最後に・・・

格差社会の原因が、労働者派遣制度にあるかのように言われています。

そのことから労働者派遣事業を制限すべきだ、なくすべきだという意見もあります。

しかし、現実には所得格差が生じているとすれば、それは以下のような理由によると思われ、解決策は別にあるのではないのでしょうか。

○技術革新・グローバル化への対応の遅れ→能力開発の充実、職業訓練の充実、教育投資

○不況による低所得層の拡大→景気回復

○所得再配分の機能不全→税制・社会保障の改革

○経営者の従業員重視から株主重視への転換→利益配分バランスの回復

正規雇用者間においても、賃金、労働時間や働き方、能力開発の多寡や質に格差が生じているといわれる中、労働者派遣事業がなすべき解決支援策は、安定的な就労機会の確保に努め、また派遣労働者の能力開発・キャリア形成の機会を増やすことなのではないのでしょうか。